

旧杉並中継所跡地活用に関するサウンディング型市場調査の実施結果について

旧杉並中継所跡地については、災害時には防災拠点として活用を図るとともに、施設の有効活用という観点から、災害時以外の平時における活用方法について、民間活力の導入を視野に入れ、引き続き検討を進めていくこととしていました。

今般、平時の活用方法等について、民間事業者のアイデアや参入の可能性等を確認することを目的に、民間事業者との直接対話を行うサウンディング型市場調査を実施しました。

1 サウンディング型市場調査実施スケジュール

- (1)実施要領の公表 令和2年9月1日(火)
- (2)募集期間 令和2年9月1日(火)から10月9日(金)まで
- (3)事前説明会 令和2年9月16日(水) (参加：6事業者)
- (4)対話実施 令和2年10月22日(木)・10月23日(金)

2 対話参加状況

6事業者(不動産関連：2事業者、物流関連：2事業者、その他：2事業者)

3 民間事業者からの提案・意見について

別紙のとおり

4 サウンディング型市場調査で確認できたこと

- 跡地活用に関心のある民間事業者が複数あり、様々な活用の可能性があること。
- 事業方式は、指定管理者制度、賃貸借契約、委託契約等の方法があり、事業期間も短期～20年程度と活用方法によって様々であること。
- 機械設備の撤去を行う場合、民間事業者が実施することは、費用面から困難であり、区が行う必要性が高いこと。その場合、費用対効果をより慎重に見極める必要があること。一方で、提案の中には、機械設備の撤去を行わずに、活用できる事業内容があること。
- 災害時における区と民間事業者の責任や権限を明確にすることが必要であること。

5 今後の進め方及びスケジュール(案)

サウンディング型市場調査で提案を受けた活用方法等について、町会等への説明や地域住民を対象としたオープンハウス等を開催し、意見等を聴取します。その後、本調査結果、地域の意見、行政需要等を踏まえ、引き続き検討を進め、令和3年度に策定を予定している区立施設再編整備計画(第二期)において、具体化を図ります。

- 令和3年3月 オープンハウスの開催
- 令和3年度 区立施設再編整備計画(第二期)策定